

# 第3回現地情報共有・連携会議 昨年の状況、出展に向けてのアドバイス

令和7年8月5日

TEAM防災ジャパン お世話係 上村 貴広  
(災害情報支援ポータル)



## 0. 自己紹介



### 上村 貴広 (かみむら たかひろ)

※父方は、新潟県六日町出身

- ・災害情報支援ポータル 代表  
→災害VCへの運営者支援  
→災害時の意思決定のための情報支援(見える化・GIS)

- ・災害支援ネットワークちば(CVOAD) 設立発起人
- ・内閣府 TEAM防災ジャパン お世話係(関東担当)
- ・NPO法人 神奈川災害ボランティアネットワーク 会員
- ・フリーランス→社会福祉協議会(災害VC) 職員→行政職員



## つながる力が、 未来を守る

-TEAM防災ジャパンとは-

内閣府と連携して、全国各地で活躍する多様な防災の担い手を育成・応援するための人材ネットワークです。

防災教育チャレンジプランはこちら



米国の標準化された危機管理システムである、ICS (Incident Command System) において、自然・人為災害だけではなく、**大規模イベントも対象**となる。

### 特別イベント (Special events)

- 非日常
- 地域資源に負担をかける
- 多人数が関わる
- 事前準備、各種計画、追加・突発的な対応等が必要になる



- |            |                   |              |
|------------|-------------------|--------------|
| 非日常        | ⇒ お祭りだった参加できる     | ⇒ 緊急時の担い手    |
| 地域資源への負担   | ⇒ よそ者も参加しやすい      | ⇒ 会の活動の幅が広がる |
| 多人数が関わる    | ⇒ 交流              | ⇒ 今後の活動へのヒント |
| 事前準備・突発対応等 | ⇒ 災害時のマネジメントにも生きる |              |

参加すること自体が、備えや次の一手につながる

**AAR(After Action Review):** 災害対応記録から、成果や改善点を確認・分析し、改善につなげる営み。

1. そもそも、我々何をしようとしていたのか？
2. 実際には、何が起きたのか？
3. なぜ、そうなったのか？
4. 今後に備えて、どのように改善するか？

- このような検証項目を、第三者が問いかけながら寄添い型で検証。
- 組織や誰かを処断することを目的とせず、今後の改善につなげる

⇒前回のアンケート結果を分析。

当日の出展やセッション・ワークショップの詰めに向けて、ご参考になりましたら



- テーマ  
復興への希望を、熊本から全国へ  
～伝えるばい熊本!がんばるばい日本!～
- 会期
  - 2024年10月19日(土)  
10:30～12:30(オープニングセッション)  
12:30～18:00
  - 2024年10月20日(日)  
10:30～14:00  
14:30～15:30(クロージングセッション)



主催：防災推進国民大会2024 実行委員会  
(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)  
協力：熊本県・熊本市

## 4. 昨年の状況 (概要)

### 来場者数・視聴数

現地来場者数	約17,000人
オンライン視聴数	約12,000回

### 出展数

2025年 in 新潟 (『7/22出展者説明会資料 更新版』より)

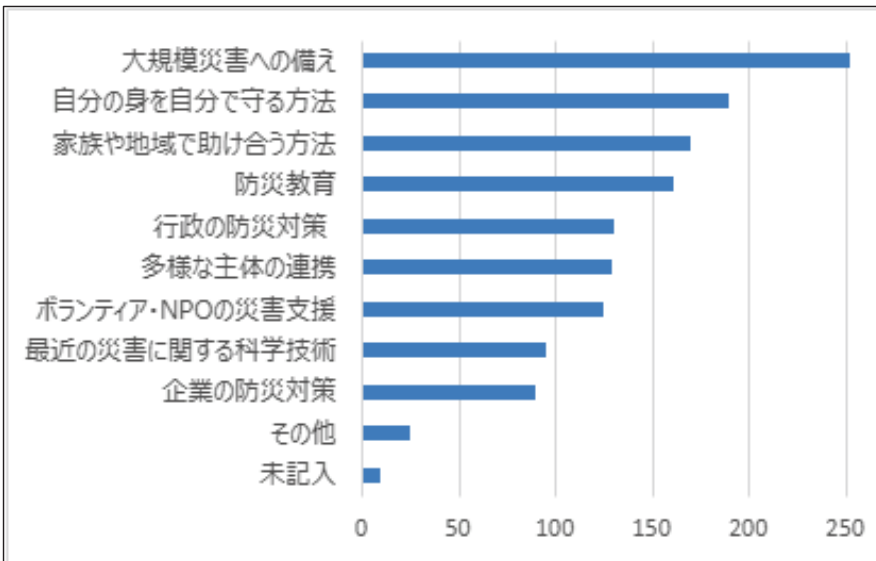
セッション	52	⇒	62↑
ワークショップ	29		
ブース展示	113	⇒	186↑
ポスター展示	102	⇒	147↑
屋外展示	77		
ステージ発表(熊本)	28		
出展団体オリジナル企画	3		
合計	404	⇒	493↑

## 4. 昨年の状況 (キーワード)

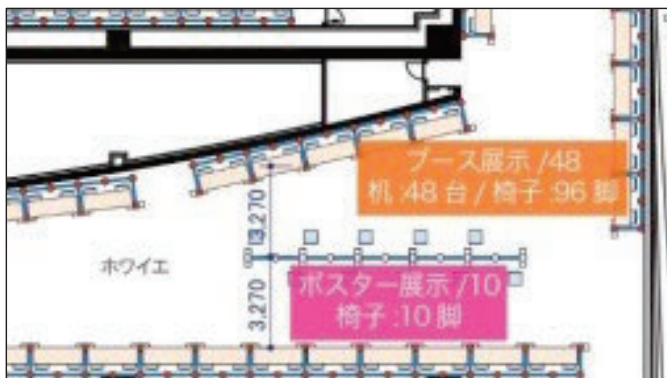
### キーワード

タイプ	地震・火山	土砂災害	風水害	科学・技術	災害情報	自助・共助	地域防災	避難・避難所	ボランティア	災害教訓・伝承	防災行政	企業防災	医療・福祉	都市・建築・住宅	災害廃棄物	備蓄・グッズ	教育	ゲーム	ペット	国際	ジェンダー・ダイバーシティ	インクルーシブ	その他
セッション	8	1	4	9	3	7	19	6	3	7	7	2	2	1	0	0	5	0	1	0	5	4	3
ワークショップ	1	0	2	2	5	5	12	2	0	3	2	1	2	0	0	0	10	9	0	0	0	1	0
ブース展示	16	3	6	6	7	16	40	13	6	13	18	6	5	8	3	7	28	4	1	7	3	0	3
ポスター展示	21	2	10	7	4	22	37	16	5	14	6	5	9	3	0	9	18	1	0	1	1	0	3
屋外展示	18	0	9	4	1	9	15	18	2	7	15	6	8	0	1	6	17	2	1	0	0	3	1
ステージ発表	5	0	1	3	2	6	8	3	2	2	5	2	2	1	0	2	8	0	0	2	0	1	1
オリジナル企画	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	70	6	32	31	22	66	131	59	18	47	53	22	28	13	5	24	86	16	3	10	9	9	11
総計	771																						

学びたかった事や個別意見



- ・子どもができる (たのしめる) ワークショップをもっと多くしてほしい
- ・ペットの防災についてもっと知りたい
- ・体験型がもう少し欲しい
- ・毎回似たようなブースが並ぶので、違ったことをしたい



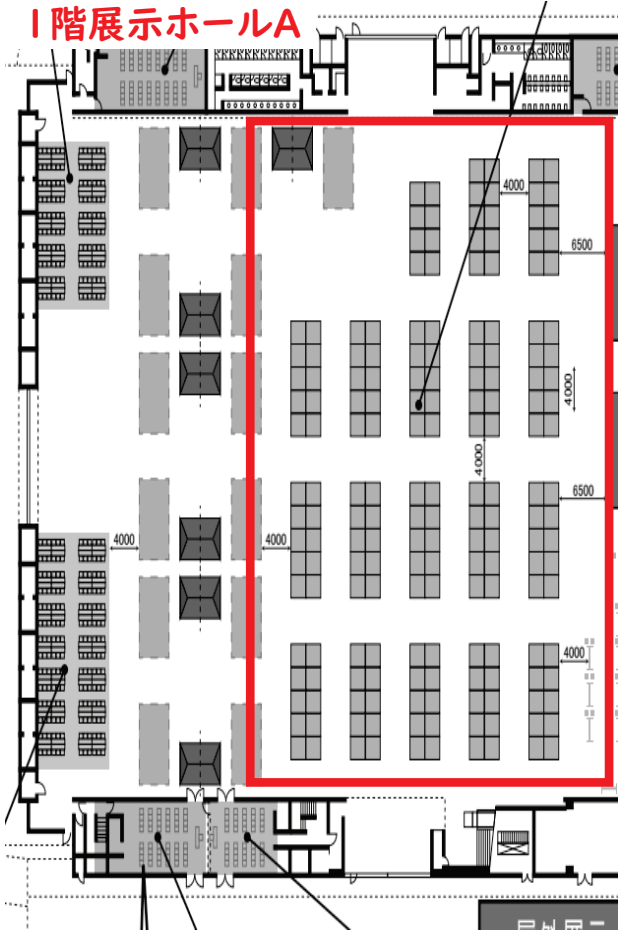
<アンケート結果>

- ・ブース同士が近すぎて混雑するのが少し大変
- ・展示スペースが狭いため説明に苦戦
- ・パネル展示、ブース展示のスペースが狭くて見づらい、立ち止まれない



出典: 2024年10月21日放送 KKT「news every.くまもと」

1階展示ホールA



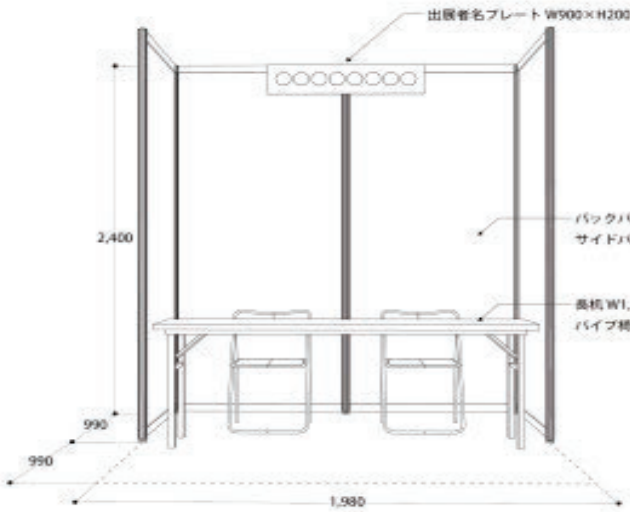
→今回は、ブース、パネル展示について、スペース面で改善されました

パネル展示 ※加筆

2階エスプラナード



6. ブースについて ※加筆あり



パネル×3→



展示例

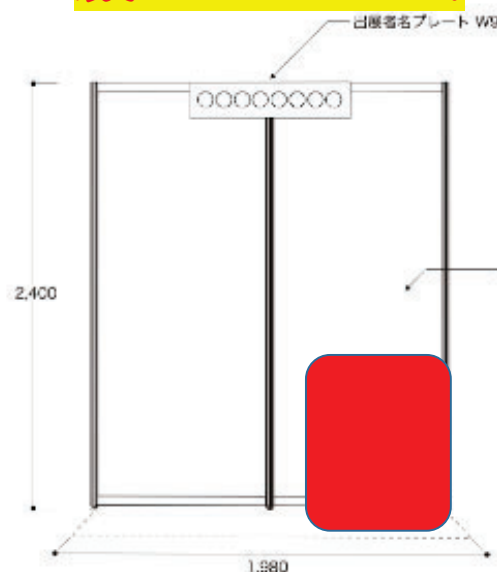
<アンケート結果>

- ・ブースに工夫の余地があり、過去のブース等を参考にすればよかった(慣れている団体との差が生まれてしまった)
- ・展示されているボードの文字が見えづらかった(特に横側のもの)
- ・展示スペースが狭いため説明に苦戦
- ・資料を多くもらうので、ファイルがあるとまとめやすく有難い(袋)
- ・ブースで多くのビラをもらうが、重いのでオンラインでみられるようにしてほしい

## 7. パネル展示について ※加筆あり



### 展示シミュレーションを!



- ・展示資料をわかりやすく作ればよかった → 絞込み・メリハリ(文字大きさ・色使い・情報圧縮)、配布・DL資料との役割分担
- ・説明者・パネルと参加者の距離がぐっと近くなる → 配布や説明に工夫が必要
- ・展示物の前に説明者がいると、展示物が見えにくくなると同時に来場者が近づきにくい → 適度な距離(今回は広め)
- ・来場者とスタッフの見分けをつきやすくしてほしい
- ・ポスター展示だったが、2日間で252人の人に足を止めていただいた → 配布物もぜひ

12

## 8. セッション・ワークショップについて ※加筆あり



W23 静岡大学学生防災ネットワーク

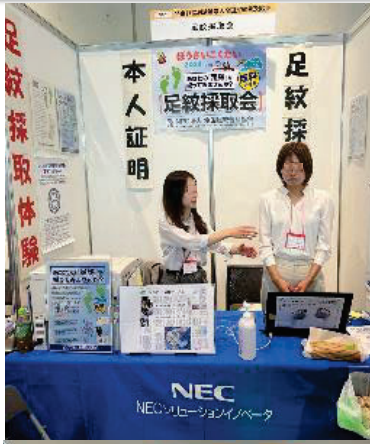
出典:『2024ぼうさいこくたい報告書』

### アンケート結果より

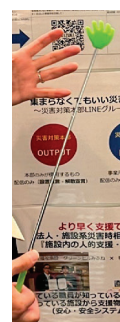
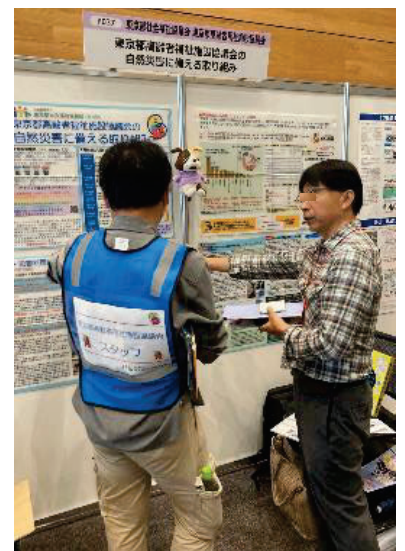
- ・初対面の方との交流により新しい刺激を受ける中で良い意見が生まれたことが良かった
- ・子どもができる(楽しめる)ワークショップをもっと多くしてほしい
- ・体験型がもう少し欲しい
- ・場面転換の時間がタイト(レイアウト変更、配信セッティング)

13

9. ブース・ポスター展示での工夫 ※追加



9. ブース・ポスター展示での工夫 ※追加



指示棒活用された団体も

## アンケート結果より

- ・ブースを回る時間がなかった(多数・出展者ジレンマ) → 交代要員多めに アーカイブ視聴  
→ 初日に大交流会(1日目18時15分~)があります! 名刺も多めに! 事前巡回計画も重要!
- ・配信テストができなかった(前の団体との交代時間がタイト)
- ・セッションで有意義な議論ができ、オンラインで会員に配信できた
- ・普段、オンラインメインだが、参加者とスタッフとの交流促進が出来てよかった
- ・来場者数を把握できていなかった為、配布物が足りなかった → 多めに準備(水物)やDL対応  
※団体のパンフレットもぜひ
- ・もう少し、広報・周知できれば良かった → アンケートでは、「ロコミ」が2割弱で1位
- ・取組の紹介ビデオを流す等、ブース前を通った来場者の目を引く工夫が必要だった
- ・体験型の展示も準備すれば、より伝わったのではと思った
- ・業界関係者ではない人の声を聞くことができて良かった(防災製品販売)

## どう、伝えるか

出典:『2024ぼうさいこくたい報告書』

16



出典:新潟市公式観光情報サイト

## この後は、出展企画内容の共有

17